

〔11月号目次〕

- 平成 28 年度 第 3 回 『汽水の松江堀川』 魅力アップ協議会 ～城山内堀川的环境修復研究事業着手～
- 第二浜田ダム完成式 ～平成 28 年 11 月 1 日～
- 河川愛護団体連絡協議会 10 周年記念式典（出雲市平田地区） ～平成 28 年 10 月 15 日～

平成 28 年度第 3 回『汽水の松江堀川』魅力アップ協議会 ～城山内堀川的环境修復研究事業着手～

河川課企画調査グループ（協議会事務局）

平成 28 年 11 月 9 日第 3 回協議会を開催し、次の議事を協議しました。

- (1) これまでの流れ
- (2) 城山内堀川的环境修復研究事業【ホシザキグリーン財団】
 - ・ 研究概要
 - ・ 仮設工事概要
- (3) 城山内堀川の生き物調査(目視程度)・クリーン活動(ゴミ拾いなど)【協議会】
- (4) その他
 - ・ 次回協議会の開催

※議事資料は河川課ホームページに掲載しています。

HP アドレス : <http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/link/>



協議会会員であるホシザキグリーン財団が、全国でも珍しい汽水環境(川、海、両方の生き物が生息できる環境)である松江堀川的环境修復を目的とする研究事業に着手します。

具体的には、城山内堀川を土のうで締切り、ポンプで水位を下げ、外来生物を捕獲した上で、外来種侵入防止柵を設置します。

仮設工事は 11 月 25 日から着手し、捕獲調査や生き物調査は 12 月 7 日を予定しています。



研究概要

- 松江堀川は、汽水の宍道湖と同じたくさんの汽水の生き物が暮らしています。
- 松江堀川は、おだやかな環境にあって、生き物が産卵し生育するのに適した場所です。
- 松江堀川は、市民や観光に訪れた人たちが間近に汽水の生き物を目にし、宍道湖の生態系を感じることもできる場所です。
- 一方で松江堀川は在来生物だけでなく、外来生物にとっても棲みやすい環境で、現在はとてもたくさんの外来生物が生息しています。



松江堀川の生物を調査し、その生態系の実態を把握する

↓
外来生物から日本の生物を守る効果的な方法を探る

↓
松江堀川の多様な自然環境保全と観光地の魅力アップ
(お城の堀には日本の生物が生息する風景がふさわしい)

ニホンイシガメ

希少種保全と資源保護

【研究スケジュール】
平成28年12月から着手し、次年度より、
3年間継続して調査研究(予定)

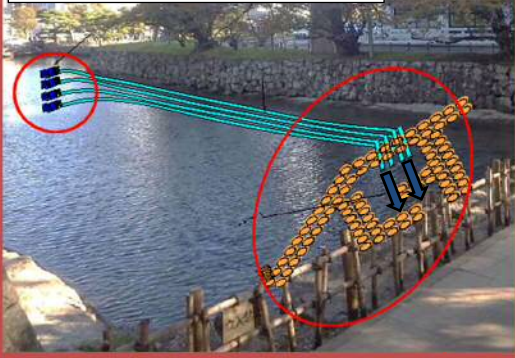
メダカ

シジミとシジミ

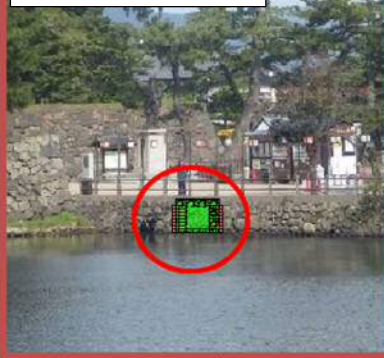
イトヨ

仮設工事概要

②千鳥橋側
・土のう締切
・ポンプ排水



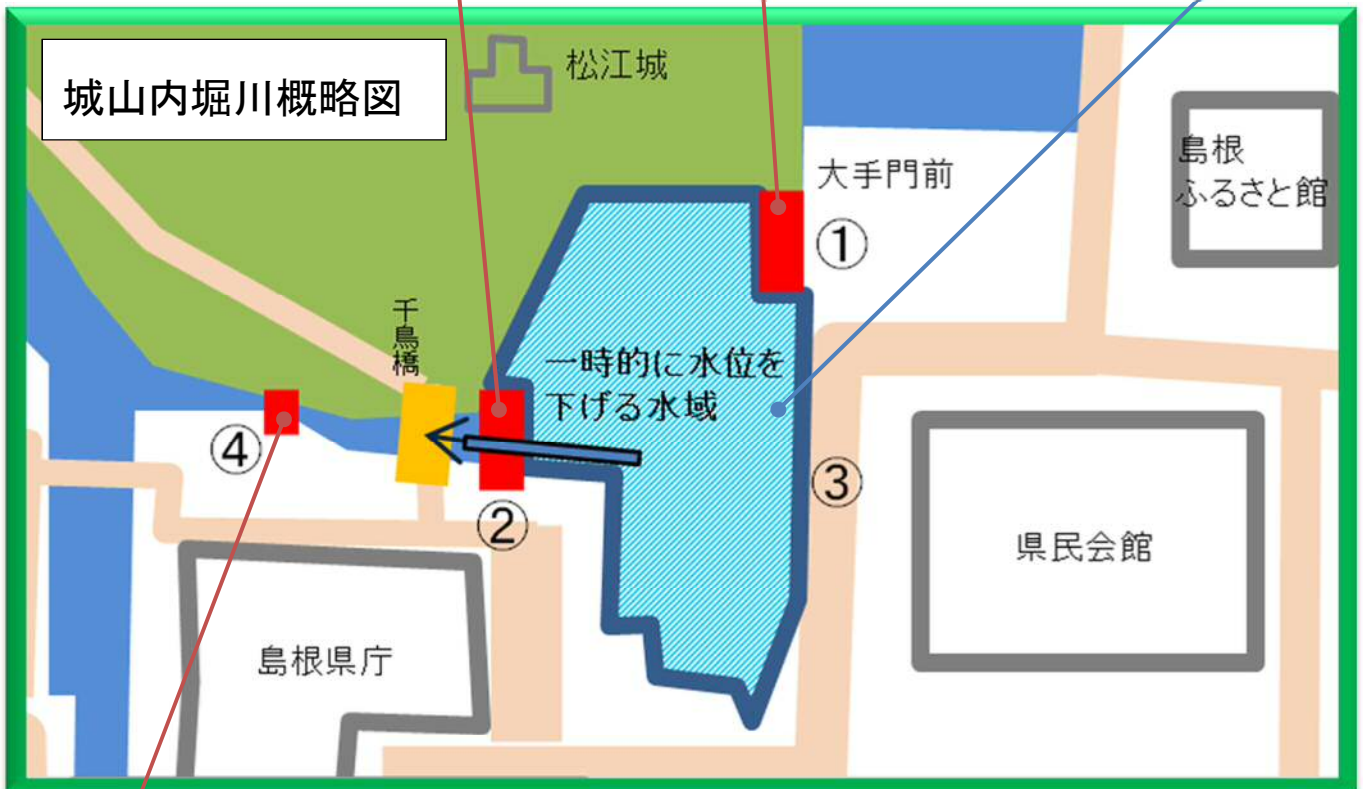
① 大手門前側
・土のう締切



③城山内堀川
・捕獲調査



城山内堀川概略図



④県庁裏
・外来種侵入防止柵設置



【工程】

- ▼11/25~29 土のう締切
- ▼11/30~12/1 排水ポンプ設置
- ▼12/2~3 排水（試運転）
- ▼12/5~6 排水（本稼働）
- ▼12/7 捕獲調査・生き物調査・クリーン活動
- ▼12/8~9 土のう、ポンプ撤去
- 12/8~10 外来種侵入防止柵設置

⇒研究事業着手

第二浜田ダム 完成式 ～（平成 28 年 11 月 1 日）～

河川課河川開発室

浜田市（浜田川）で建設していた第二浜田ダムが完成し、完成式を執り行いました。
完成式は、関係者約60人が出席し『ダム湖命名者表彰、記念碑の除幕及び記念植樹』を行い、ダムの完成を祝いました。



ダム湖命名者表彰



記念碑除幕



記念植樹（桜：ソメイヨシノ）



本体ダム（左）、鞍部ダム（右）



本体ダム上流面



本体ダム下流面



鞍部ダム（左）、本体ダム（右）〔H28. 4〕



試験湛水時の満水状況〔H28. 2. 1〕

ダム湖名『いわみおろち湖』

石見神楽の演目である『大蛇』にちなみ、神楽を中心として元気な地方であり続けてほしいという思いを込めて命名

ダム諸元 目的 浜田川の洪水調節、既得取水の安定化、河川環境の保全

本体ダム) 重力式コンクリートダム 堤高：97.8m 堤長：218.0m 堤体積：324,000m³ 総貯水容量：15,470,000m³

鞍部ダム) 重力式コンクリートダム 堤高：27.8m 堤長：202.5m 堤体積：34,000m³

河川愛護団体連絡協議会 10周年記念式典(出雲市平田地区)

～平成28年10月15日～

河川課企画調査グループ

出雲市平田地区の河川愛護団体でつくる連絡協議会が、今年で10周年を迎えました。同会は平成19年5月に、雲洲平田船川、平田船川、湯谷川の3河川の景観美化を行う団体として結成され、現在、18団体、299人が所属し、合同で除草作業などが行われています。

式典には、同会や行政関係者らが出席し、溝口知事、長岡出雲市長から同会への謝意を示され、県出雲県土整備事務所長から同会に感謝状を贈呈しました。

河川愛護団体のメンバーの方からは、「作業は大変であるが、地域のつながりが深まった」、「若い世代に活動をつなげたい」などのコメントがありました。



【編集後記】河川課 企画調査グループ 金村拓也

今号では『汽水の松江堀川』魅力アップ協議会について記事にしました。

上記の通り、城山内堀川の水位を一時的に低下させ、生き物調査を実施します。初の試みであり、どれだけの生き物が確認できるか楽しみです。

さて、島根県河川課では、今後も引き続き、河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL : 0852-22-5647 FAX : 0852-22-5681

mail : kasen@pref.shimane.lg.jp

河川課 しまねの河川と海岸だより HP : <http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/>